



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

2020 年度 芦屋ユネスコ協会 「平和の鐘を鳴らそう！」式典実施



2020 年、夏。戦後 75 年目の終戦記念日に当たる 8 月 15 日(土)、芦屋市・芦屋市教育委員会とともに芦屋ユネスコ協会主催の式典「平和の鐘を鳴らそう！」行事を実施しました。



今年はコロナ禍の

影響で、例年式典後に実施していた語り継ぐ「平和のつどい」は開催できませんでした。山中会長・いとう市長をはじめ芦屋市民センター玄関横に設置された「優愛の鐘」(芦屋市婦人会寄贈)に集まった約 70 人が平和の鐘を鳴らし、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、命の大切さを思い、二度と戦争を繰り返してはならないことを心に刻みました。

市・市教育委員会では、悲惨な戦争を体験した方々がますます少なくなる中、戦争を体験された方々の証言を集め、被爆体験ほか過去の平和資料を再編集した冊子「芦屋市平和記録集-たゆまぬ平和への歩み」を 2017 年に発行しました。

参加された方々には、この冊子と、おにぎり・お茶をお持ち帰りいただきました。

皆様には、ご自宅でおにぎりを食べながら冊子をひもとき、お一人お一人が平和の大切さに思いを馳せていただけたことと思います。



平和の鐘を鳴らす運動 わたしの平和宣言

私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての命を大切にします」
差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。
2. 「どんな暴力も許しません」
積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。
3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」
社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。
4. 「相手の立場に立って考えます」
狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。
5. 「かけがえのない地球環境を守ります」
生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。
6. 「みんなで力を合わせます」
男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

<(社)日本ユネスコ協会連盟 訳>

※「わたしの平和宣言」(MANIFESTO2000)はノーベル平和賞受賞者たちの起草した誓いです。

- 2000年8月15日、平和の文化国際年記念行事「平和の鐘を鳴らそう」が全国一斉に開催されました。阪神・淡路大震災により一時休会となっていた芦屋ユネスコ協会も、2000年の「平和の鐘を鳴らそう」行事とともに活動を再スタートし、現在に至っています。



書き損じハガキ 11 枚で、1 人が1 カ月 学校に通えます！

書きそんじローで
世界を救おう！



世界にはいろいろな理由で学校に通えず、字の読み書きや計算のできない人たちがたくさんいます。このような人たちに、勉強する場「寺子屋」を作って、教育を受けるチャンスを支援する運動です。

ユネスコでは皆様のご協力を得、書き損じはがきや未使用の切手・テレフォンカードを集めて、運動の資金にしています。

書き損じハガキ回収に、皆様のご協力をお待ちしています！

ユネスコ協会 SDGs パスポートの取り組みについて (ユネスコ協会・旧 ESD パスポート)



SDGs パスポートは児童・生徒が地域のボランティア活動に積極的に参加し、「ユネスコの心」を持ったグローバルな人材へと成長していくことを応援するためのものです。また、児童・生徒達のボランティア活動の記録を書き留める成長の記録ともなります。今回はSDGs パスポートを使用して、積極的にボランティア活動を行なっている甲南高等学校のボランティア委員長玉村ナオさんに取り組みについて話を聞きました。

Q：甲南高等学校のボランティア活動について教えてください。

A：甲南高等学校では、主に芦屋市キッズスクエアの活動に協力をしています。キッズスクエアは、放課後の子供見守り活動の一つで、芦屋市の各小学校で実施されています。甲南生は自分達の空いている時間を利用して、山手小学校、朝日が丘小学校、岩園小学校へ行き、児童たちと一緒に遊んだり、宿題を手伝ったりしています。昨年度の夏休みには、熱中症の講義も行いました。その他にも、神戸定住外国人支援センターでの学習支援のボランティア、芦屋市社会福祉協議会の依頼で高齢者対象のスマホ講座のヘルプ、大きな災害が起きた時などは校内外で募金活動をしています。今年度は新型コロナの影響で対面の活動があまりできていません。しかしながら、ZOOM を使った熱中症講義や高齢者との交流活動を行なったりしています。

Q：SDGs パスポートはどのように使用していますか。

A：パスポートはボランティア活動ごとに、記入します。活動日時、場所、ボランティア内容、活動の気づき・感想を記入し、活動団体の方にサインをしてもらいます。一度のボランティアで、原則 1 ボランとカウントします。30 ボラン溜まったら、申請すればユネスコ協会から「ボランティア活動認定書」がいただけます。活動ごとに書くので、その活動中自分が何を考えていたか後から振り返ることができ、自分の成長を実感できたりもします。

Q：どれぐらいの人が 30 ボラン溜めて、申請するのですか。

A：結構、30 ボラン溜めるのは大変ですが、毎年 10 名弱が申請していると聞いています。甲南高校では2016 年度からSDGs パスポートの活動に参加するようになって、今までに約 40 名が活動認定書をもらったと聞いています。

Q：ボランティア活動を通じて、学んだことはありますか。

A：ボランティア活動を通じて、幅広い年齢層の人々、いろんな職業の方々と話す機会ができ、普段とは違った視点で物事を考えることができるようになりました。また、いろんな人とコミュニケーションを取ることで、コミュニケーション能力が上がったように思います。そしてなにより、「感謝」「人と人とのつながり」「自主的に活動することの大切さ」の 3 つをボランティア活動を通じて実感できたのが一番の収穫です。

Q：最後に一言お願いします。

A：これからもボランティア活動を続け、地域活動の活性化に貢献したいと思います。皆さんもぜひボランティアに参加してみてください。新しい発見・出会いが必ずあります。ありがとうございました。

芦屋ユネスコではSDGs パスポートの取り組みを推奨しています。SDGs パスポートの取り組みを奨励し、学校・地域団体・ユネスコ協会が協力し、地域の子どもたちを育てていきましょう。

＜文責：澤武 潤子＞

芦屋ユネスコ協会「年末講演会＆親睦会」ご案内

早いもので、いよいよ今年も年末が近づいてまいりました。

2020 年度も、恒例となりました芦屋ユネスコ協会主催の「年末講演会＆親睦会」を下記のとおり開催いたします。今年度はコロナ対策として人数制限し、**先着 50 名**までとさせていただきます。会員の皆様にはご理解の上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- ◆日 時 12 月 15 日(火)午後 6 時～8 時 30 分 <※午後 5 時 30 分・受付開始>
- ◆会 場 ホテル竹園 3 階・宴会場
- ◆内 容 ①講 演・・・政府代表 / 外務省特命全権大使 山本 条太 様
②お食事・・・洋風懐石コース
③エンターテインメント・・・現在調整中
※今回は、ビンゴゲームは中止します。
- ◆会 費 6,000 円 ※当日受付でお支払いください。
- ◆出欠届 返信はがきを同封しています。出席・欠席にかかわらず必ず返信してください。
※お問い合わせ等は、下記までお願いします。
戎井 恭子 副会長 電話・FAX 0797-31-5217
- ◆回答期限 **11 月 20 日(金)<必着>**
※締め切りは厳守してください。できるだけお早目にお返事をお願いします。

- 【お願い】 ①ビンゴゲームは中止となりますので、例年持ち寄っていただいている景品のご準備は今回は必要ありません。
②書き損じハガキがございましたら、ご持参ください。
③今回、**お食事の時以外はマスクをご着用**いただきますようお願いいたします。

新入会員ご紹介

ご入会ありがとうございました。大歓迎です。

★山西 康司 様 ★山西 明子 様 ★蟻田 剛毅 様 ★津田 由貴 様

編集後記

「年末講演会＆親睦会」のご案内を差し上げる季節となりました。

今年は、年明けからコロナ禍の影響で、芦屋ユネスコ協会の行事・事業はほとんど開催中止にせざるを得ませんでした。その中で「平和の鐘を鳴らそう!」行事については、式典のみでしたが開催することができました。

そしてこのたびの「年末講演会＆親睦会」。この冬は、インフルエンザとコロナのダブル禍予測がいられていますが、with コロナ時代の対策を講じつつ、皆様のご協力を得て行事を成功させたいと願っています。

<文責：南 ゆう子>